



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 アシードホールディングス株式会社
 コード番号 9959 URL <http://www.aseed-hd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河本 大輔

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 橋本 義徳
 経営企画グループ担当

TEL 084-923-5552

四半期報告書提出予定日 平成27年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	23,234	△6.7	488	△8.6	462	△11.3	165	△49.8
26年3月期第3四半期	24,901	△2.1	533	△15.9	520	△14.4	330	△14.3

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 250百万円 (△29.3%) 26年3月期第3四半期 354百万円 (△4.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	26.05	—
26年3月期第3四半期	51.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	15,576	4,402	28.3	694.23
26年3月期	15,342	4,332	28.2	676.67

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 4,402百万円 26年3月期 4,332百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
27年3月期	—	8.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	△5.8	460	2.2	450	3.8	120	△50.6	18.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期3Q	6,747,624 株	26年3月期	6,747,624 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年3月期3Q	406,107 株	26年3月期	345,588 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	6,370,506 株	26年3月期3Q	6,466,449 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府と日銀による経済・金融政策の効果により雇用や所得に改善の動きがみられるものの、個人消費につきましては消費増税の影響に加え、夏季の異常気象や天候不順等の影響により、依然として厳しい状況にあります。

自販機オペレーター（運営リテール）業界におきましては、自販機のロケーションや設置台数の飽和状態が続くなか、過剰な設置・取引条件競争に加え、業種業態を超えた価格競争の激化に伴う収益性の低下などにより、業界再編が一段と加速しております。

飲料製造事業におきましては、円安による原材料コスト上昇に加え、夏季の冷夏・長雨による販売不振により、経営環境は一段と厳しい状況にあります。

このような状況のなか、当社グループでは引き続き積極的かつ政策的に自販機のリプレースを進めて効率化を図るとともに、フルライン自販機の推進により過剰に設置された自販機を集約化しました。また、事業のグローバル化を目的として、ベトナムのビール事業会社へ投資を実行いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高23,234百万円（前年同四半期比6.7%減）、営業利益488百万円（同8.6%減）、経常利益462百万円（同11.3%減）、四半期純利益165百万円（同49.8%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、売上高は外部顧客への売上高を記載しております。

① 自販機運営リテール事業

消費税率の引上げに伴う値上げの影響や夏季の天候不順に加え、コンビニエンスストアや量販店等との競合により、自販機での飲料販売は想定以上に厳しい状況となりました。このような状況のなか、当社グループでは引き続き消費者ニーズに即した付加価値の高い商品を1台に集約して提供する「フルライン自販機」と本格オフィスコーヒー「カフェバー」の推進を図るとともに自社ブランド商品の育成に取り組みました。

この結果、自販機運営リテール事業の売上高は14,775百万円（前年同四半期比5.8%減）、セグメント利益は507百万円（同11.7%増）となりました。

② 飲料製造事業

飲料製造業界におきましては、円安による原材料コストの上昇に加え、消費税率の引上げによる駆け込み需要の反動、さらには最盛期である夏季の異常気象等（冷夏・長雨）により厳しい経営環境となりました。このような状況のなか、低アルコール飲料やエナジー飲料等の高付加価値製品の製造を強化するとともに、物流経費の削減等により利益率の向上を図りました。

この結果、飲料製造事業の売上高は8,154百万円（前年同四半期比8.3%減）、セグメント利益は158百万円（同34.8%減）となりました。

③ 飲料サービスシステム事業

遊技人口は長期的な縮小トレンドにあり、遊技場の淘汰と大手チェーンによる寡占化が進行しております。このような状況のなか、お客様に対してカップ飲料自販機のサービス価値を向上させる「アオンズ・カードシステム」の導入強化に取り組みました。

この結果、飲料サービスシステム事業の売上高は231百万円（前年同四半期比15.6%減）、セグメント利益は29百万円（同15.4%減）となりました。

④ 不動産運用事業

不動産運用事業につきましては、平成26年9月より広島県に保有する不動産を家電大型専門店に、また同年10月には山口県に保有する不動産を大手ドラッグストアに賃貸しており、売上高は73百万円（前年同四半期比42.9%増）、セグメント利益は107百万円（同20.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、6,286百万円となり、前連結会計年度末に比べ260百万円増加いたしました。これは現金及び預金の減少95百万円、受取手形及び売掛金の減少216百万円、商品及び製品の増加582百万円及び前払費用の減少131百万円等によるものです。また、固定資産は9,290百万円となり、前連結会計年度末に比べ26百万円減少いたしました。これは建物及び構築物(純額)の減少79百万円、機械装置及び運搬具(純額)の減少67百万円、土地の減少61百万円、リース資産(純額)の減少96百万円、のれんの減少62百万円、投資有価証券の増加145百万円、長期前払費用の増加236百万円及び繰延税金資産の減少93百万円等によるものです。

この結果、総資産は15,576百万円となり、前連結会計年度末に比べ234百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は8,552百万円となり、前連結会計年度末に比べ794百万円増加いたしました。これは買掛金の増加253百万円、短期借入金の増加480百万円及び未払消費税等の増加139百万円等によるものです。また、固定負債は2,621百万円となり、前連結会計年度末に比べ629百万円減少いたしました。これは長期借入金の減少565百万円及びリース債務の減少111百万円等によるものです。

この結果、負債合計は11,174百万円となり、前連結会計年度末に比べ164百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は4,402百万円となり、前連結会計年度末に比べ70百万円増加いたしました。これは四半期純利益による増加165百万円、自己株式の取得による減少77百万円、剰余金の配当による減少102百万円及びその他有価証券評価差額金の増加75百万円等によるものです。

この結果、自己資本比率は28.3% (前連結会計年度末は28.2%) となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年10月27日「特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,105,080	1,009,536
受取手形及び売掛金	1,967,477	1,750,881
商品及び製品	1,230,648	1,813,445
仕掛品	150	—
原材料及び貯蔵品	227,446	184,694
前払費用	799,281	667,958
繰延税金資産	103,274	65,059
その他	594,669	798,098
貸倒引当金	△2,572	△3,520
流動資産合計	6,025,455	6,286,154
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,145,627	1,066,548
機械装置及び運搬具(純額)	450,053	383,050
工具、器具及び備品(純額)	26,025	24,575
土地	3,775,013	3,713,249
リース資産(純額)	1,169,408	1,073,071
建設仮勘定	17,792	73,104
有形固定資産合計	6,583,920	6,333,599
無形固定資産		
のれん	427,579	364,837
リース資産	30,854	21,992
その他	37,725	35,283
無形固定資産合計	496,159	422,113
投資その他の資産		
投資有価証券	648,869	794,312
長期貸付金	29,846	29,124
長期前払費用	853,570	1,089,988
繰延税金資産	201,008	107,016
その他	543,553	566,640
貸倒引当金	△40,288	△52,224
投資その他の資産合計	2,236,559	2,534,857
固定資産合計	9,316,640	9,290,570
資産合計	15,342,095	15,576,725

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,625,581	2,878,821
短期借入金	2,180,000	2,660,000
1年内返済予定の長期借入金	858,720	827,416
リース債務	372,290	383,013
未払金	881,870	742,859
未払法人税等	114,423	30,686
未払消費税等	44,695	183,901
繰延税金負債	50	73
賞与引当金	133,170	50,782
その他	547,463	794,915
流動負債合計	7,758,266	8,552,471
固定負債		
長期借入金	1,857,634	1,292,221
リース債務	933,169	821,367
再評価に係る繰延税金負債	40,019	40,019
役員退職慰労引当金	132,542	132,242
退職給付に係る負債	135,475	137,519
資産除去債務	2,800	2,800
その他	150,108	195,619
固定負債合計	3,251,749	2,621,789
負債合計	11,010,015	11,174,260
純資産の部		
株主資本		
資本金	798,472	798,472
資本剰余金	1,012,778	1,012,778
利益剰余金	3,350,297	3,414,143
自己株式	△302,210	△380,095
株主資本合計	4,859,337	4,845,297
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,263	93,438
土地再評価差額金	△547,392	△547,392
為替換算調整勘定	2,474	11,270
退職給付に係る調整累計額	△602	△150
その他の包括利益累計額合計	△527,257	△442,833
純資産合計	4,332,080	4,402,464
負債純資産合計	15,342,095	15,576,725

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	24,901,364	23,234,981
売上原価	16,192,949	14,898,397
売上総利益	8,708,415	8,336,584
販売費及び一般管理費	8,174,438	7,848,484
営業利益	533,976	488,099
営業外収益		
受取利息	4,651	4,929
受取配当金	6,958	7,413
持分法による投資利益	—	5,057
不動産賃貸料	4,855	6,315
受取賃貸料	12,767	9,042
受取保険金	1,703	3,615
違約金収入	—	2,081
受取補償金	1,177	—
その他	30,032	26,788
営業外収益合計	62,147	65,244
営業外費用		
支払利息	58,073	56,978
その他	17,305	34,253
営業外費用合計	75,379	91,231
経常利益	520,744	462,112
特別利益		
固定資産売却益	52	1,354
投資有価証券売却益	7,015	5,019
特別利益合計	7,068	6,373
特別損失		
固定資産売却損	3,623	—
固定資産除却損	3,737	18,874
減損損失	7,306	61,764
投資有価証券売却損	250	—
投資有価証券評価損	683	—
その他	10	—
特別損失合計	15,612	80,638
税金等調整前四半期純利益	512,200	387,847
法人税、住民税及び事業税	164,065	118,252
法人税等調整額	17,383	103,647
法人税等合計	181,448	221,899
少数株主損益調整前四半期純利益	330,752	165,948
四半期純利益	330,752	165,948

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	330,752	165,948
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22,902	75,175
為替換算調整勘定	381	8,796
退職給付に係る調整額	—	451
その他の包括利益合計	23,284	84,423
四半期包括利益	354,036	250,371
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	354,036	250,371

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自販機運営 リテイル事業	飲料製造 事業	飲料サービス システム事業	不動産運用 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	15,684,942	8,891,315	274,002	51,103	24,901,364	—	24,901,364
セグメント間の内部 売上高又は振替高	63,590	588,062	1,249	118,887	771,790	△771,790	—
計	15,748,533	9,479,377	275,252	169,991	25,673,155	△771,790	24,901,364
セグメント利益	454,003	243,425	34,850	88,981	821,260	△287,284	533,976

(注) 1. セグメント利益の調整額△287,284千円には、セグメント間取引消去1,178千円、のれんの償却額△7,522千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△280,940千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自販機運営 リテイル事業	飲料製造 事業	飲料サービス システム事業	不動産運用 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	14,775,720	8,154,861	231,385	73,013	23,234,981	—	23,234,981
セグメント間の内部 売上高又は振替高	50,320	520,695	1,057	113,514	685,588	△685,588	—
計	14,826,041	8,675,557	232,442	186,528	23,920,569	△685,588	23,234,981
セグメント利益	507,004	158,663	29,482	107,325	802,475	△314,375	488,099

(注) 1. セグメント利益の調整額△314,375千円には、セグメント間取引消去3,862千円、のれんの償却額△7,522千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△310,716千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。